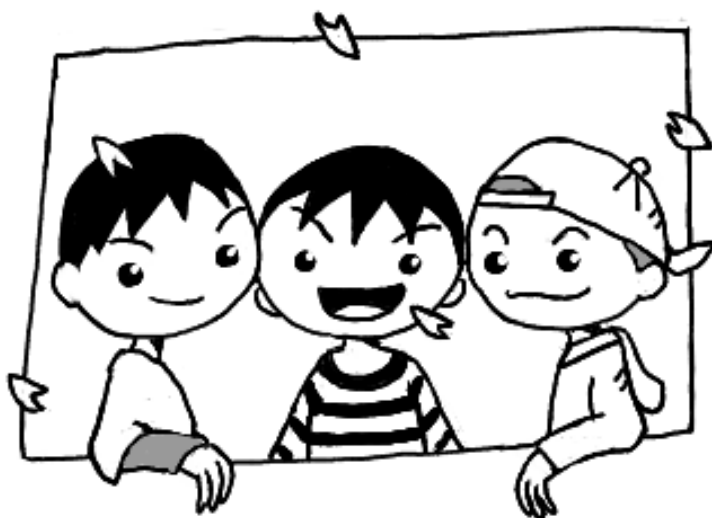


第38回神奈川県学童保育研究集会

~~ いいね！！学童保育 ~~



日時 : 2015年3月1日(日)

10時00分～16時15分(受付開始 9時30分)

会場 : 横浜市開港記念会館(受付・全体会・分科会)

神奈川県庁新庁舎(分科会)

*一般参加者の駐車場は確保していませんので、公共交通機関でお越しください。

参加費 : 1,800円(資料代含む)

申込み : 当日参加も可能ですが、準備の都合上2013年2月16日(月)までにお申込みください。申込方法は参加申込み書面をご覧ください。

保育室 : 4歳以上。保育申し込みは2月16日(月)まで。

一人500円/保険代含む(保育料は当日保育受付にてお支払いください。)

主催 神奈川県学童保育連絡協議会

後援 神奈川県・各市町村、各教育委員会(申請中)

第 38 回神奈川県学童保育研究集会のご案内

*** 参加申込方法** 参加費 1800 円を添えて、以下の方法でお申し込みください。

○郵便振替または銀行口座への振り込み

郵便振替口座 00170—7—653858

横浜銀行 元町支店（普通）72462

口座名義 神奈川県学童保育連絡協議会

★参加費を振り込んでいただいた上で、振替票（または振込票）のコピーと参加申込書を FAX か郵便、Eメール (kana_ken@pc4.so-net.ne.jp) でお送りください。

○現金書留

送り先 神奈川県学童保育連絡協議会

〒231-0027 横浜市中区扇町 3-8-7 三平ビル 201

★現金書留で参加申込書と参加費を郵送してください。

注 1 後日受講票をお送りいたします。受講票を持って領収証とさせていただきます。
（別途領収証が必要な場合にはご相談ください）

注 2 2月23日(月)以降のキャンセルについては返金できません。

注 3 当日受付もありますが、混雑いたしますので、なるべく事前にお申し込みください。

注 4 分科会によっては定員があり先着順となります。定員がいっぱいになった場合、分科会を変更して頂くことがございますのでご了承ください。分科会変更の場合のみ、ご連絡いたします。（分科会申込みは必ず第3希望までご記入ください。）

注 5 お弁当の販売は致しません。持参するか、会場周辺のコンビニ等をご利用ください。また、昼食可能な会場は当日の資料集でご確認ください。

*** 保育室** 事前に申込みの上、保育料は当日保育受付でお支払いください。

- 4歳以上。保育申し込みは2月16日(月)まで。
- 保育料 一人500円/保険代含む。
- お子さまには必ず、お茶などの飲み物をお持たせ下さい。



【お申込・お問い合わせ先】

神奈川県学童保育連絡協議会

〒231-0027 神奈川県横浜市中区扇町 3-8-7 三平ビル 201

TEL : 045-662-9647 / Fax : 045-663-4118

Eメール : kana_ken@pc4.so-net.ne.jp / HP : <http://www4.atword.jp/kanaken/>

【参加申込書】

第 38 回神奈川県学童保育研究集会

氏名	(ふりがな)	性別 (男・女)	参加回数 (今回で 回目)
		立 場	保護者 (OB含む) ・ 指導員 その他 ()
		指導員歴	年 月
学童保育所在地		クラブ名	
		市・町・村	
受講票 送付先	クラブ ・ 自宅 (送付先がクラブの場合、必ずクラブ名をご記入ください)		
	(〒)		
電話番号	分科会変更など確認のために連絡する場合がございますので、必ずご記入下さい。 () - (自宅・クラブ・携帯)		
希望分科会	第1 () 第2 () 第3 () * 受講希望の分科会を数字で (必ず第3希望まで) ご記入ください		

【保育申込書】 * 保育料は当日保育受付にてお支払いください。

保育希望	お子さんの名前 (ふりがな)	年齢・学年	利用時間
	()	幼児 (歳) ・ 学童 (年生)	午前 ・ 午後 ・ 一日
	()	幼児 (歳) ・ 学童 (年生)	午前 ・ 午後 ・ 一日
	()	幼児 (歳) ・ 学童 (年生)	午前 ・ 午後 ・ 一日

<横浜市開港記念会館 アクセス>



1. JR 京浜東北線・根岸線
「関内駅」南口から徒歩 10 分
2. 市営地下鉄線「関内駅」
1 番出口から徒歩 10 分
3. みなとみらい線「日本大通り駅」
1 番出口から徒歩 1 分

○全体会 …………… 10時00分 ～ 12時00分

9：30 受付開始

10：00～10：30 開会

基調報告

特別報告

10：30～12：00 記念講演

「生き生き すごせていますか」

～ つながって子育てを ～

講師 三輪 睦雄 氏

(元横浜市立小学校教員・元横浜市児童相談所勤務)



<プロフィール>

1946年大分県生まれの熱血教師。1968年宮崎大学学芸学部卒。横浜市立小学校の38年の教師生活。その後5年間は児童相談所一時保護所勤務。現在も講演、公開授業と全国を飛び回っている。

著書に「子育てに悩むあなたへチョッといい話」や「生きる喜び、本物のきずな」「教師と親に贈る教育は愛とロマン」など多数。

○分科会 …………… 13時15分 ～ 16時15分

分科会詳細は裏面をご参照ください。

【分科会】 13:15～16:15（会場は当日ご確認ください）

◇分科会の末尾の番号は、全国学童保育連絡協議会が作成した「指導員の研修科目（試案）」に該当するものです。

<学童保育入門の分科会>

1

「ようこそ学童保育へ！」

～保護者と指導員で作る子どもの居場所～

講師： 八木 晶子（横浜市指導員）

「学童保育に子どもを預けているけれど…親として何をすればいいの?」「指導員として働きはじめたけれど、わからないことだらけ…」そうした素朴な疑問も大切にしながら、学童保育の歴史や基本的な役割、保護者の願いや関わり方、そこで働く指導員の役割について考えます。参加者からの悩みや疑問も出し合いながら、一緒に学んでいきましょう。 ◇I-1, II-1①

<基礎を学ぶ分科会>

2

「指導員の仕事・実務」

講師： 藤倉 大（横須賀市指導員）

学童保育の役割を押さえながら、指導員の仕事とは何か、そこで求められる実務にはどのような意味があるのか、保育、打ち合わせ、記録など具体的に触れながら学んでいきましょう。また学童保育の指導員として大切にしたいことについても確認していきましょう。 ◇II-2・3

3

「学童保育の生活づくり」

講師： 飛鳥井祐貴（横須賀市指導員）

子どもたちにとって、安心感のある学童保育の生活をどうつくっていくのか。子ども同士、子どもと指導員の関係作りを土台として、何を大切にしながら生活づくりをしていくのかを学び合しましょう。また、年間の流れ、1日の流れをどう組み立てていくかも具体的に考えてみましょう。 ◇II-1、IV-1

<講義と交流で学ぶ分科会>

4

「大人に見えない子どもの世界」

～大丈夫? ネット世界の子どもたち～

講師： 成田弘子（白梅学園大学教授）

今の子どもたちを取り巻くネット世界を知っていますか? 便利さの反面、ネット犯罪に巻き込まれないか…子ども世界にどういう影響があるのか等、親としては心配もあります。現状を知った上でどう付き合っていくか、親子で考えるときに配慮したいポイントなど学びます。 ◇III-2④

5

「悩まなくても大丈夫！！」

～知っておきたい食物アレルギーの話～

講師：園部まり子（アレルギーを考える母の会代表）

食物アレルギーは症状の重さや程度、原因となる食物の種類や量など、非常に多様で個性が高い疾患です。そんな食物アレルギーに悩む保護者、年間約 400 人(のべ 2000 件)の相談を受けている「アレルギーを考える母の会」代表の園部さんから、保護者の抱える悩みや困難、それを援助する活動などをお聞きした上で、食物アレルギーの実際について学んでいきましょう。

◇Ⅱ-2

6

「発達障害のある子の理解と支援」

講師：横倉江美子（NPO 発達障害の会神奈川オアシス代表）

学童保育への発達障害のある子どもの受け入れが増えています。「どう理解し、支援したら良いのか」という悩みの声も少なくありません。この分科会では、発達障害の会「神奈川オアシス」代表 横倉江美子さんから、親の目線と専門家の目線の両方からお話をさせていただきます。一人一人をどう捉えて寄り添っていく事が大切なのか、障がいの特性を理解し、学童保育の中で仲間と育ち合うためにどんな働きかけが求められるのかを学びましょう。

◇Ⅲ-4

7

「子育てに行き詰まった時」

講師：田中真樹子（市川こころの相談室代表）

疲れがたまっていると、叱るときの語調が強くなったり、いつもは気にならない子どもの行為にヒステリックに反応してしまったりする。多くの親がそんな体験を持っているのではないのでしょうか？「市川こころの相談室」代表の田中真樹子先生が子育てする時に大切にしたい視点についてわかりやすく、丁寧にお話していただきます。

◇Ⅳ-6①⑤⑥

<実践および交流の分科会>

8

「いいね！！保護者会」

様々な運営形態がある中で、共通して学童保育を豊かなものにする原動力と言われる「保護者会」。この分科会では保護者会活動で大切にしたいこと、保護者が運営することの課題や解決策、子育て、仕事、生活の苦労を安心して語れる保護者会とはどういうものか、事例を出し合いながら、よりよい保護者会について考えていきましょう。

◇Ⅳ-6-④

9

「子ども同士のかかわり」

学童保育では、いたずら、ちょっかい、かまいすぎ、時にはケンカなども起こります。しかし、そうした子ども同士のかかわりにこそ、子どもたちが成長していくきっかけとなることや、子どもの要求が隠されている事があるものです。事例を出し合いながら、子どもの捉え方を検討しつつ、必要な働きかけの視点を学んでいきましょう。

◇Ⅲ-2.3

10

「伝え合おう子どものこと」

～保護者と指導員、一緒に子育て～

「学童での子どもの様子を保護者にどう伝えればいいのか」「子どもの様子を教えて欲しい」「家や学校でのことを指導員に聞いて欲しい」「忙しそうで話しかけられない…」などの声をよく聞きます。そんな悩みを出し合いながら、学童保育における『伝え合い』の大切さを皆で交流し合う分科会です。学童保育の役割を考えながら保護者と指導員の連携についても考えていきましょう。

◇ II-1② IV-6

11

「高学年を含めた生活づくり」

児童福祉法が改正され、学童保育の対象児童が「おおむね10歳」から「小学生」に広がり、今後初めて受け入れることになるところもあることでしょう。高学年の子どもを含めた学童保育の生活は、低学年だけの場合と異なるダイナミックさがある一方、高学年の子どもたちの心の揺れに寄り添う繊細さも求められます。高学年を含めた生活づくりについて、悩みや不安を持ち寄り、実践から学び合います。

◇ III-5

12

「日々の記録から実践の記録へ」

日々のことを記録し、指導員同士で記録をもとに実践を振り返り確認することは、子どもたちの生活を作っていく上で大切な仕事です。記録を元にして学び合うこと、この積み重ねが保育の向上に繋がります。実践を記録すること・検討することの意味を学びつつ、当日は実際のレポートを使って検討してみましょう。

◇ V-1, 2

13

「神奈川県の子童保育」

神奈川県内では、すべての市町村に学童保育が実施されていますが、運営形態や施設・設備など実施状況は様々です。2015年4月から実施される『子ども・子育て支援新制度』が、各地域の学童保育にどのように影響するのか、はじめて設けられる最低基準を活用し、地域が抱える課題を解決・改善していくためにはどうすればよいか、現状と取組みを交流します。また、指導員の資格認定の実施も進められます。現任の指導員が資格取得できるようにする取組みについても交流しましょう。

◇ I-1②③

<実技を学ぶ分科会>

14

「みんなであそぼう」

子どもにとって大切なあそび。あそびを通じて子どもたちの様々な様子が見えたり、子ども同士、また子どもと指導員のかかわりも深めていくことが出来ます。実際にあそびながら、学童保育の生活づくりの中心とも言える“あそび”について学んでいきましょう。当日は動きやすい靴と服装で参加して下さい。

◇ IV-2, 3

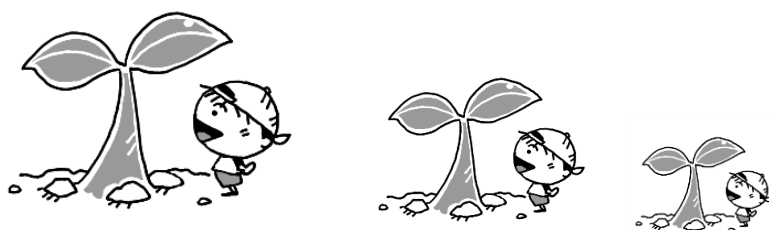
15

「学童保育を取り巻く国の状況」 ～国の施策とこれからの学童保育～

講師：池谷 潤（全国学童保育連絡協議会 事務局長）

2015年4月の「子ども子育て新制度」本格実施に向け、国は実施の詳細の検討を進めています。厚生労働省令で学童保育の基準が示され、都道府県が行うとされた「放課後児童支援員」の認定資格研修の内容も明らかになりました。また、新たに「放課後子ども総合プラン」の実施計画の策定も求めています。市町村での条例化や「事業計画」の策定など、制度内容を理解し、私たちの運動の課題を明確にする必要に迫られています。分科会では、これらの状況を理解できるよう学びます。

◇I-1②、③



月刊『日本の学童ほいく』は、 学童保育や子育てについて学べる学童保育専門誌！

毎月、全国で働きながら子育てしている保護者の声、指導員からの実践、講座、子どもの広場などが掲載されています。そのほか、おやつレシピ、工作、遊びなど、すぐに役立つ情報がいっぱい！学童保育に関する国の動きなどの情報も！

月刊『日本の学童ほいく』は

働きながらの子育てに役立つ雑誌です。
指導員の実践（生活づくり）に役立つ雑誌です。
保護者と指導員の共感を育むのに役立つ雑誌です。
読者である保護者・指導員が自ら作っている雑誌です。
学童保育を良くするための活動を進めるのに役立つ雑誌です。



【購読のお申し込みは 県連協 TEL 045-662-9647 まで】